

被災された皆様にお見舞い申し上げます。

3/11 東北地方で発生した巨大地震は M9.0 を記録する世界で観測史上 4 番目の大地震となり、合わせて起きた福島原発事故にもより、多くの方々が未だ不安を抱えながら毎日を送りしていると思います。

被災された皆様へ心からお見舞い申し上げます。近藤も宮城県に母方の親族がおり、その安否確認に 4 日費やしました。

しかし、地震大国日本でこれほど多くの方が生き抜いてこれたのは優れた技術力と社会的結束力のおかげだと思います。世界が日本に寄せる讃辞に私達も立ち上がりましょう！

**ただちに原発の安全基準の見直しと点検を！
再生可能エネルギーの導入へ。**

原発の安全神話は吹き飛びました。今すぐにすべき事は原発の安全基準の見直しです。原発は、多くの建築物同様、建設時の安全基準をクリアしていれば良いため、その安全性について以前より多くの専門家から指摘されてきました。

今回の事故を厳粛に受け止め、直ちに民間の専門家・技術者を含めた第三者機関を作り安全基準を見直し、全基を点検すべきです。神奈川県の隣、静岡県御前崎には浜岡原発があり、東海地震発生時には関東地方に甚大な被害を及ぼすことも予想されています。

原発を今すぐに止める事が暴論である事は理解しています。しかし代替エネルギーの安定供給出来るまでの繋ぎにし、新炉建設はすべきではない。たとえ私達の生活が多少不便になろうとも、次代に禍根を残さない再生可能なエネルギー政策を近藤は求めます。

近藤だいすけの選挙区域は『**逗子市・葉山町**』

think & act
vol.11

大地震と原子力災害から住民をまもる！緊急発行ニュース。

神奈川県議会ニュース

災害時の情報対策を強化！

地震発生の日、鉄道がストップし、都市近郊では多くの方が帰宅困難者となりました。近藤も県議会会期中であったため、県庁内の会派室で一夜を明かしました。

県・市・町では避難所や公共施設を開放するも、情報の不足と、避難誘導対策が不十分であった事は否めません。現況の防災マニュアルでは、指定避難場所における受け入れは地域住民を想定しており、帰宅困難者受け入れの為に改定を求めます。様々な対応があった中、川崎市営バスが終夜運転していたのは特筆しておきたい。

計画停電の情報発信を改善せよ！

計画停電では東電の情報発信のまずさがあり、多くの不満と混乱を招きました。市町では東電の連絡を受け、防災行政無線で周知しますが、停電 10 分前に連絡があるなど、対応に苦慮しました。東電サイドにも電力の需要と供給のバランスは計りかねるものがあつた様ですが、行政と企業の情報共有の強化は今後の大きな課題です。また、インターネットの利用者と非利用者の情報格差をなくす対応も必要です。

逗子市・葉山町の計画停電グループ分け

第1グループ	第3グループ
逗子市 逗子6・7丁目の1部 久木4丁目／小坪全域 新宿1丁目の1部 新宿2～5丁目	逗子市 逗子全域 (6・7丁目の1部を除く)／桜山・山の根全域 沼間全域／久木 (4丁目を除く) 新宿1丁目の1部／池子全域
※堀内、長柄、木古庭、上山口地区の計画停電はありません	葉山町 一色／下山口

以上は、3/18 現在。詳細は、東京電力カスタマーセンター 0120-99-5776 まで。

**近藤事務所で救援物資を受け付けます。
がんばろう日本！！**

県が 27 品目の救援物資の受付を開始しました。皆様からの提供物資を近藤事務所で仕分けし、県と連携して被災地に届けます。物資は未使用で、毛布・洋服は洗濯済みのものも対象にします。[救援物資受付 27 品目 (一部抜粋)]

- 毛布・洋服・寝袋・ブルーシート・保存食全般・粉ミルク
- カセットコンロ・トイレトーパー・ウェットティッシュ
- おむつ・タオル・使い捨てカイロ・マスク・石鹸・乾電池・ごみ袋

詳細は近藤ホームページ www.kondo-daisuke.jp まで。

think globally, act locally

神奈川県議会議員

近藤だいすけ

41 歳 無所属

twitter でフォローして下さい！

逗子葉山だいすけ
www.kondo-daisuke.jp

- 4 命をまもる！
つの提言
- ①再生可能エネルギー導入
 - ②減災対策の強化
 - ③原子力災害対策の強化
 - ④災害時の情報対策の強化

近藤だいすけ 41 歳

民主党かながわクラブ県議団 政調会副会長／総務政策常任委員
'98～'06 逗子市議会議員(3 期 4 選) '07～神奈川県議会議員
家族：妻・一男・一女／身長：187 cm／体重：73 kg
星座：山羊座／血液型：O 型／趣味：釣り・音楽鑑賞・料理
特技：ドラムが叩ける・潜水で 50m 泳げる

think & act vol.11 近藤だいすけ神奈川県議会ニュース
発行部数 40,000 部／発行日 2011 年 3 月 20 日／配布地域：逗子市・葉山町
近藤だいすけ事務所 〒249-0006 神奈川県逗子市逗子 3-6-7
Tel/Fax: 046-873-8744 E-mail: daisuki@kondo-daisuke.jp

危機管理に想定外は許されない！ 減災対策の強化が急務！

神奈川県では H22 年 3 月に地震防災戦略を策定し、30 年以内に発生する恐れのある M7 クラスの三浦半島断層地震と県西部地震の対策を急いでいます。

想定は 4,350 人の死亡、16,740 の全壊棟数、40.4 兆円経済被害ですが、これらを半減させるため、建物耐震化を始め、様々な対策に取り組んでいます。しかし今回のことで、より厳しい想定を基にした計画の見直しの必要性を痛感しました。

<p>H23 年度神奈川県予算(安全防災局一部)</p> <p>■市町村消防防災力強化支援事業 1 億 4150 万円 市町村が取組む民間木造住宅の耐震化支援事業への支援や消防無線共通波の全権一括デジタル化整備支援。</p> <p>H23 年度逗子市予算(まちづくり課)</p> <p>■震前震後対策事業 608 万円 昭和 56 年前の民間木造住宅の耐震診断費と改修費を補助。</p> <p>H23 年度葉山町予算(都市計画課・教育総務課)</p> <p>■住宅耐震推進事業費 230 万円 民間木造住宅の耐震診断費補助</p> <p>■一色小学校新館耐震診断費 374 万円</p> <p>■洪水ハザードマップ作製費 96 万円</p>

都道府県での広域防災連携強化も強化！

逗子市・葉山町では、近隣市町との連携による、広域防災能力の強化が必要です。

また、大規模災害発生時時は、国と都道府県域を越えた広域的な協力体制が必要であり、広域化に対応する協定締結や情報網整備・活動資機材の整備充実を求めています。

東日本大震災において、神奈川県からも消防・警察の広域緊急援助隊が多数派遣されるとともに医療チームや給水隊派遣、食料・原子力災害装備など多くの救援物資を提供しています。

広域連携を強化するためには、通信手段の確保が必須でありリスクを分散するため地上系・衛星系の通信システムの強化を求めています。

神奈川県と県内市町村の東日本大震災広域支援状況 (一部抜粋)

- 食料 105,000 食 ●毛布 15,000 枚
- 公営住宅受入れ 721 戸
- 一時避難受入れ 216 施設(約 63,000 人)
- 要援護者の受入れ 163 施設(約 500 人)

原子力災害対策の強化を！ 神奈川県は原子力災害対策の 基準値を見直すべき

国・東電の情報発信はスピードも精度も充分とは言えず、近藤の事務所にも不満・疑問の声が多数寄せられています。これは被災者をはじめ多くの国民の命を預かるものとしてあるまじきこと。震災が人災にも発展しないよう、速やかに改善していくことを求めています。

県としてはホームページで情報提供する程度で、これは原子力災害の対策本部は放射線量が 500msv/h を越えないと設置されないためです。今回の事故を受け、この基準値の見直しと、より積極的な対応を求めます。

逗子市・葉山町にもモニタリングポストを！

県は、川崎・横須賀地域に 13 基のモニタリングポスト(放射線測定機)を設置していて、ホームページ※で 1 時間おきの数値を確認することが出来ます。これらモニタリングポストでの測定値は通常値は 10 ~ 50nGy/h(ナングレイ※)の所、福島原発事故発生時は最高 212.8nG/h にまで上昇、3/20 現在は 40 ~ 70nGy/h 程度に安定しています。最高値でも直ちに健康被害が出る数値ではありませんので冷静に対応ください。

相模湾側の逗子・葉山には現状 1 基も無いことから設置を求めます。そして数値に基づき、各自治体も独自に判断し、対応出来るようにすべきです。

※神奈川県安全防災局危機管理課
環境放射能モニタリングシステム <http://www.atom.pref.kanagawa.jp/>
※ナングレイはマイクロシーベルトの約千分の一



放射線を測定するモニタリングポスト
横須賀原子力艦モニタリングセンター



安定ヨウ素剤とは？

原子力災害が発生した際、大気中に放射性ヨウ素が放出されると、それにより内部被ばくを起こし、甲状腺に影響を与えることが想定される。

この甲状腺内部被ばくの予防として、他の防護対策との連携の中で安定ヨウ素剤の服用が有用とされている。

各国の安定ヨウ素剤の備蓄に関するデータ

ドイツ	各家庭に配布。学校、病院、役場、職場に備蓄。
オーストリア	家庭事前配布、学校、幼稚園 1 日配布。自己購入可能(薬局で)
フランス	各家庭に配布または学校、保育所、保健所等に備蓄。薬局に行けば無料で予防的に入手可能。
ベルギー	事前に家庭に配布。指定場所に配布・備蓄。学校、病院、役場、職場等に備蓄
イギリス	配布を事後としている。
アメリカ	配布を事後としている。備蓄は州によって異なる。

万一の原子力災害に備え、 安定ヨウ素剤の備蓄を。

横須賀港に原子力艦船が多数寄港していることから、近藤はかねてより地域の原子力災害対策の強化を求め、放射線被ばくによる甲状腺ガンに有効とされる「安定ヨウ素剤」について備蓄量見直しや各家庭での備蓄などを提案してきました。

現状、県・横須賀市で約 33 万錠を備蓄、葉山町にも 1 万 8 千錠ありますが逗子市に備蓄はありません。40 歳以上には効果があまりないとされていますが、子どもや避難時の危機管理として対策を講じるべきです。

皆様からのご意見を、お待ちしております。

お名前	ご住所
TEL	FAX
E-mail	@

ご意見など

FAX にてご送信ください。FAX 番号 046-873-8744

ボランティア募集

ご近所への議会ニュースのポスティングなど、近藤だいの活動をサポートして下さる方、大募集中です。TEL・FAX・E-MAIL でご連絡下さい。よろしくお願致します。



神奈川県・逗子市・葉山町の備蓄等状況

	一時避難場所数	食料品	毛布
神奈川県	約 2,100 ヶ所	約 275 万食	約 72 万枚
逗子市	28 ヶ所	約 52,000 食	約 17,000 枚
葉山町	24 ヶ所	約 45,000 食	約 5,000 枚

備品には、粉ミルクや紙おむつ、簡易トイレや衛生用品などもあります。

東日本大震災の被災者が 1 日に必要な食料は約 140 万食。自治体備蓄には限界があることから住民一人ひとりの災害への備えが重要です。